

「なつほのか」の特徴

宇佐市(水田農業グループ)における6月25日頃移植の「ヒノヒカリ」との比較

生育特性

- ①収穫の早い早生品種
出穂期は4日、成熟期は7日程度早い
- ②生育初期は稲体がしなやかで葉が垂れる
- ③稈長・穂長は同程度、穂数はやや多い
- ④耐倒伏性は同程度



生育初期(移植23日後)の様子
(茎数20本/株程度)

移植期	品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	穂長 cm	穂数 本/m ²	倒伏程度 (0-5)
6/10頃	なつほのか	8.13	9.23	86	20.0	371	0.4
	ヒノヒカリ	8.20	10.03	91	19.6	366	0.5
	差・比	-7	-10	-5	+0.4	101	-0.1
6/25頃	なつほのか	8.23	10.08	86	19.8	409	0.8
	ヒノヒカリ	8.27	10.15	89	19.5	390	1.1
	差・比	-4	-7	-3	+0.3	105	-0.3

注1)表中の値は、6/10頃移植が7か年(2015~2017、2020~2023年)、6/25頃移植は9か年(2013~2017、2020~2023年)の平均値。
注2)差・比の値において符号のあるものは差、ないものは比を表す。
注3)倒伏:0(無)、1(微)、2(少)、3(中)、4(多)、5(甚)。

収量・品質特性

- ①千粒重が1~2g程度重く、1割程度多収
- ②検査等級は同程度~優れる
- ③高温登熟耐性を有する(白未熟粒が出にくい)
- ④玄米のタンパク質含有率は同程度、味度値は高い
- ⑤大粒で、食味官能総合値は同程度



なつほのか

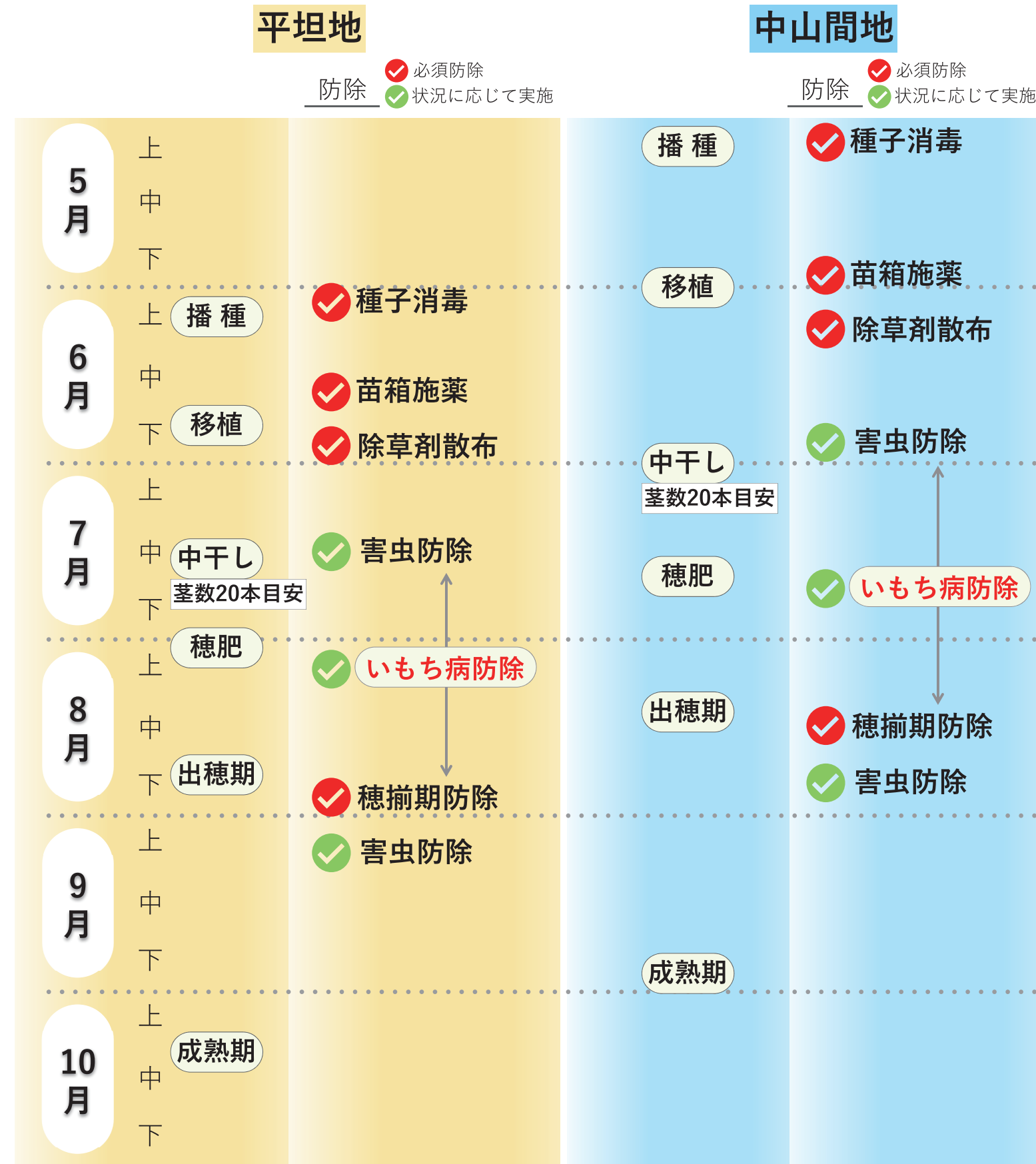


ヒノヒカリ

移植期	品種名	玄米重 kg/10a	千粒重 g	検査等級		玄米 タンパク質 含有率 %	味度値	食味 官能 総合値
				1.7mm 調製 (1-10)	1.85mm 調製 (1-10)			
6/10頃	なつほのか	647	22.9	4.3	3.6	6.8	76	0.04
	ヒノヒカリ	583	21.6	5.4	4.3	6.6	71	0.19
	差・比	111	+1.3	-1.1	-0.7	+0.2	+5	-
6/25頃	なつほのか	648	23.0	6.3	4.8	7.0	81	-0.17
	ヒノヒカリ	591	21.3	6.2	5.4	6.9	76	0.00
	差・比	110	+1.7	+0.1	-0.6	+0.1	+5	-

注1)表中の値は、6/10頃移植が7か年(2015~2017、2020~2023年)、6/25頃移植は9か年(2013~2017、2020~2023年)の平均値。
注2)差・比の値において符号のあるものは差、ないものは比を表す。
注3)玄米重は1.70mmふるいで調製。玄米重、千粒重、玄米タンパク質含有率:水分14.5%換算値。
注4)検査等級は1(1等上)、2(1等中)、3(1等下)、4(2等上)、5(2等中)、6(2等下)、7(3等上)、8(3等中)、9(3等下)、10(規格外)。
注5)食味官能試験の基準品種は、水田農業グループ場内産ヒノヒカリを供試。

「なつほのか」栽培管理の目安



発行 大分県農林水産研究指導センター 農業研究部 水田農業グループ

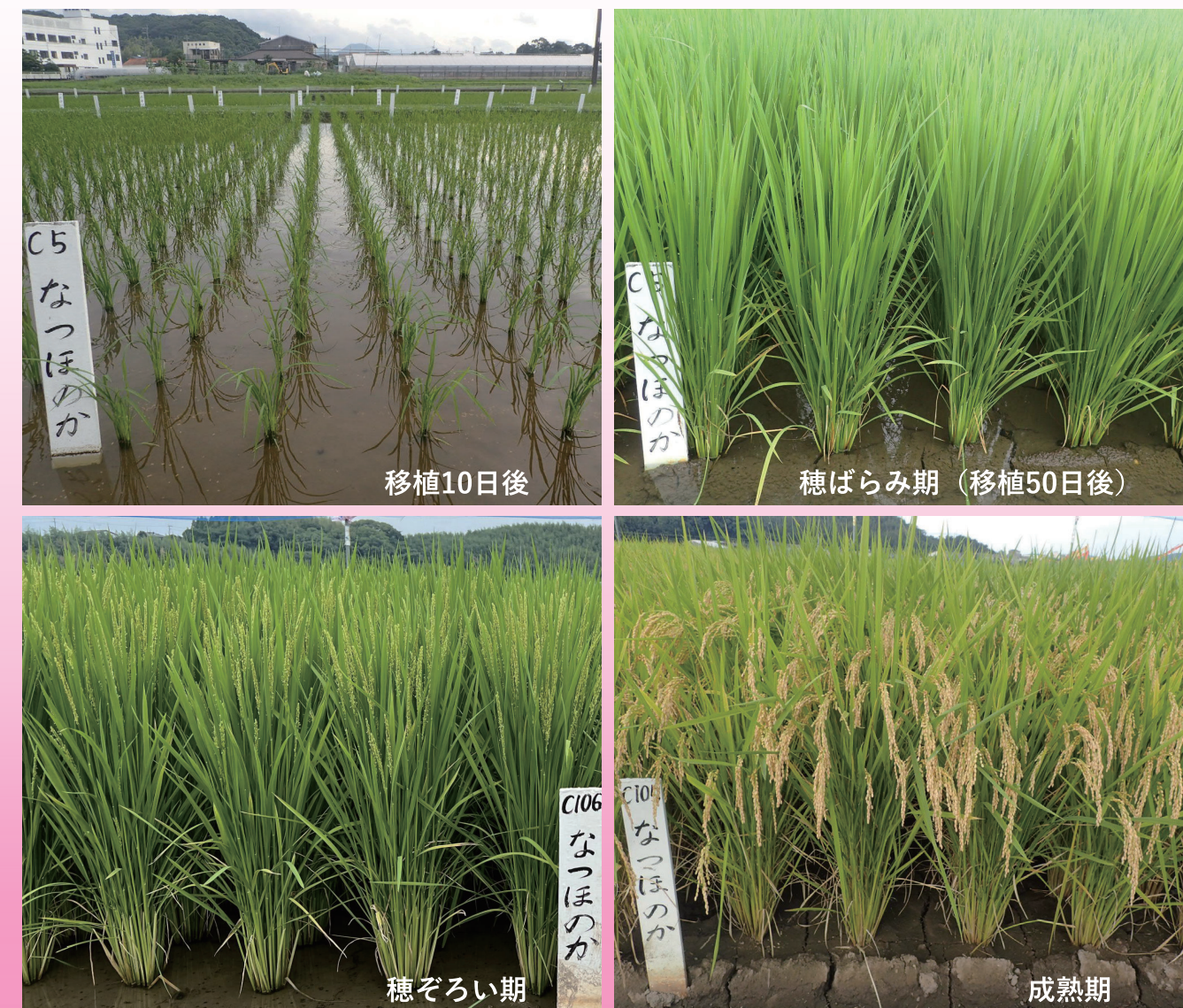
問い合わせ先

- 各振興局 生産流通部 集落営農・水田畑地化班(南部振興局は営農・畑地化・畜産班)
 - ・東部振興局 TEL.0978-72-1141
 - ・中部振興局 TEL.097-506-5791
 - ・南部振興局 TEL.0972-22-1195
 - ・豊肥振興局 TEL.0974-63-1301
 - ・西部振興局 TEL.0973-23-2217
 - ・北部振興局 TEL.0978-28-2304(宇佐) TEL.0978-28-2303(中津・豊後高田)
- 大分県 水田畑地化・集落営農課 TEL.097-506-3596



↑大分県のお米に関するページ
(栽培技術情報)

水稻早生品種「なつほのか」 栽培のポイント



令和6年3月

大分県農林水産研究指導センター
農業研究部 水田農業グループ



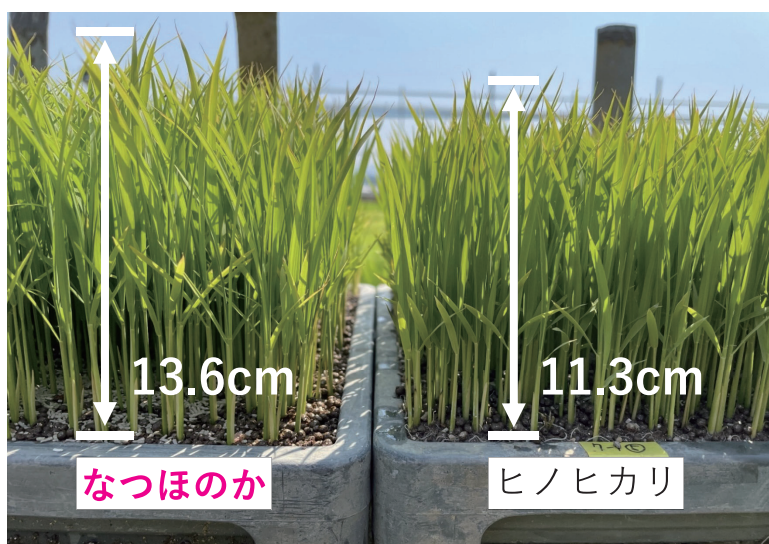
ここが大切！7つの栽培ポイント

① 苗の伸ばしすぎに注意

- ・「なつほのか」は「ヒノヒカリ」に比べて、**苗が伸びやすい**ため、**被覆資材を取り除くタイミングには十分注意**してください。
- ・緑化と硬化は「ヒノヒカリ」より1～2日早く開始し、**3cm程度**で遮光シートを外し屋外に広げましょう。



播種3日後の苗の比較



播種20日後の苗の比較



「なつほのか」は「ヒノヒカリ」と同じ管理では苗が伸びすぎます。**被覆資材を早めに外しましょう！**

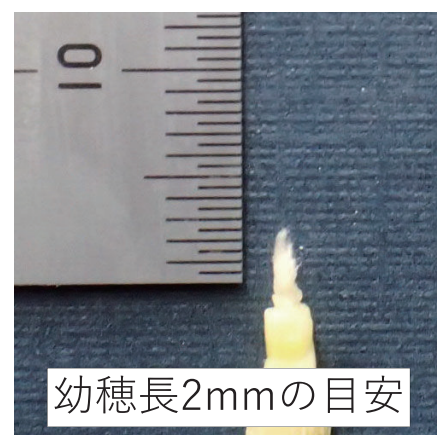
② 苗箱施薬は必須

- ・「なつほのか」は「ヒノヒカリ」と同様に**いもち病に弱い**ため、**必ずいもち病に効果のある育苗箱施用剤**を使用しましょう。
- ・ウンカ対策として、**トリフルメゾピリム成分**を含んだ薬剤の使用が有効です。

③ 肥料は施肥基準量を守る

- ・窒素施肥量は以下の施肥量が基本です。
- ・**堆肥を多量に施用した圃場**や**肥沃な圃場**では倒伏防止、いもち病防止のため、**基肥を減量**しましょう。

分施肥系			全量基肥(一発肥料)	
基肥	穂肥		基肥	備考
窒素施肥量 kg/10a	窒素施肥量 kg/10a	施用時期	窒素施肥量 kg/10a	
4	3	幼穂長2～10mm (出穂22～17日前)頃	7	移植同時施用の場合は 溶出期間 90日タイプ を使用する。 (耕起時施用の場合は100日タイプ)



幼穂長2mmの目安



分施肥系の場合、穂肥施用のタイミングは**幼穂長2～10mm(出穂22～17日前)頃**「ヒノヒカリ」より出穂が早い**ため遅れない**ように注意しましょう。

④ 適切な栽植密度

- ・安定的な収量、品質を確保するため、植付株数は**坪あたり50～60株(株間22～18cm)程度**を目安としましょう。
- ※極端な疎植は、茎数不足により穂数が確保できず収量が低下する恐れがあります。
- ※極端な密植は、過繁茂による病虫害発生や倒伏を助長します。

⑤ 中干しと間断灌水で生育をコントロールする

- ・生育状況に合わせて、**中干しを確実に実施**しましょう。**茎数が1株20本程度**になったときが、中干しを開始する目安です。
※田の表面が軽くひび割れる程度まで実施
- ・中干しをすることで、**倒伏軽減**や**登熟向上**につながります。
- ・早期落水は避け、収穫に支障が出ない程度に**収穫直前まで間断灌水**を行いましょう。

⑥ 病虫害に要注意

- ・病虫害の発生を助長する多肥や極端な密植栽培を避け、**発生予察情報**に基づいた防除を行いましょう。
- ・**いもち病**には「ヒノヒカリ」と同様に**弱い**ため、**防除を徹底**しましょう。
※葉いもちの発生を確認した場合は直ちに防除しましょう。
- ・「なつほのか」を「ヒノヒカリ」作付地域に植える場合、**出穂が早い**ため**カメムシ類が集中**します。**適期にカメムシ防除**を徹底しましょう。



葉いもちの病斑



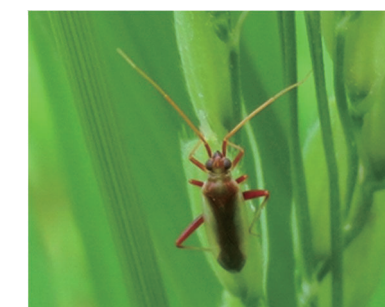
クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ



イネカメムシ



アカスジカスミカメ

斑点米カメムシ類

写真出典 病虫害対策チーム原因

トビイロウンカについては、県が発表する警報・注意報に注意し、対策を行ってください！



↑発生予察情報は
こちらのサイトで確認できます
(病虫害対策チームHP)

⑦ 適期収穫

- ・収穫適期は**青刈率が10～15%**のときです。**出穂期後からの積算温度(日平均気温の積算値)**は、**約1050～1100℃(早限：1000℃、晚限：1200℃)**です。
※早刈は青未熟粒、刈遅れは茶米や胴割れ米が多くなり、品質・食味ともに低下します。